

# 編集 後記

編集・広報委員1年生の渋谷と申します。生理学会の先生方、よろしく申し上げます。

今月号でも、改組された各委員会の新委員長による紹介が続いています。学会全体にも新しい風が感じられ、編集・広報委員としての責任の大きさを感じております。

さて、新しい風に誘われて個人的に思いついたのですが、「生理学検定試験」なんていかがでしょうか？英語検定試験と同様に5級から1級まで用意して、受験資格なしで、誰にでもチャレンジしていただくのです。メリットは？と言いますと…。

\*「生理学」の社会的ステータスを、より高められる。

実施できたなら、医療系にはめずらしい検定試験になると思います。社会的に注目され、「生理学」のアイデンティティーを、より明確にできるのではないのでしょうか？

\*ゴールを用意することで学習意欲を高められる。

取得する価値のある資格となるでしょう。生理

検定1級でも持っていれば、医療系の出版社などへの就職は有利ではないでしょうか？社会的な科学リテラシー向上に貢献できる可能性も否定できないと思われます。

\*高等教育機関の授業の効率を、より上げられる。

生理学会には大学など高等教育機関の教員が多いと思われます。小生は、2年目の医学生に「僕は生物受験じゃないから、生理学は苦手です」と言われたことがあります。「生理学の授業を受ける前に、生理学検定4級は受かっておくように」と指示しておけるようになると素敵ではないでしょうか？学生さんに下地ができ、授業の効率が増大することがあっても減少することはないと思われます。

学会内の新しい風を、社会へ向けて流す一端を担える構想かもしれません。今月号に掲載された「Journal of Physiology and Medicine Education 構想」を含め、ご検討、ご批判いただけると幸いです。

(渋谷まさと shibuya@med.showa-u.ac.jp)

\*編集執行委員

## 編集委員

\*岡田 泰伸 (一般生理) [編集・広報幹事]  
赤須 崇 (神経生理) [九州]  
\*入来 篤史 (感覚, 運動, 高次中枢)  
\*河西 春郎 (神経・分泌生理)  
川上 順子 (感覚)  
北澤 茂 (運動, 認知) [関東]  
\*久保 義弘 (細胞分子生理)  
窪田 隆裕 (腎・体液) [近畿]  
小泉 周 (感覚)  
小西 真人 (筋) [東京]  
\*小山 なつ (感覚, 神経生理) [HP担当]

佐々木和彦 (神経生理) [東北]  
\*定藤 規弘 (心理生理)  
\*渋谷まさと (呼吸・循環)  
菅屋 潤壹 (栄養・代謝・体温) [中部]  
関野 祐子 (神経化学)  
高井 章 (平滑筋, 自律神経) [北海道]  
辻岡 克彦 (循環) [中・四国]  
美津島 大 (内分泌)  
\*村上 政隆 (膜輸送)  
吉岡 利忠 (体力)

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル  
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603 (勤務時間10：30～18：30)  
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp  
URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/